

H I C 通信

Vol. 113

July 2021
Hiroshima
International
Center



牧場体験

世羅高原ファームランド ジェラート工房 Donna
(世羅町)



ジェラート作り

目次

P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」

P3 ホルヘさんの日本日記

P4 イスラム教への正しい理解

P5 国際交流に取り組む学生団体の紹介
ひろしま留学大使について

P6 事業報告
留学生活躍支援センター

P7 医療通訳ボランティア研修
外国人相談について

P8 コラム
Hello Hiroshima
イベント・講座案内
Upcoming Event News

P9 JICALレポート

こちら JICA デスク

P10 スポーツ×国際協力



ひまわりまつり (世羅町)

私の国と日本



カンボジア編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！



留学生紹介

チュムイヴリさん

呉工業高等専門学校5年生のチュムイヴリです。私はカンボジアの首都であるプノンペンから来ました。広島県に来て今年で3年目です。広島県の人々が優しく住みやすいと思っています。今私が住んでいる呉市では海も山もあって、とてもいい場所だと思っています。日本にいるうちに、色々なところに旅行して、たくさんの友達を作りたいと思います。



アンコールワット

交通

私は日本の電車が好きです。なぜかという、いつも時間通りに来ているので、交通によって遅刻することはあまりないからです。カンボジアでは公共交通機関はまだ盛んでないため、人々が自分の車やバイクなどを利用しています。私が国にいたとき、毎日バイクに乗って学校に通っていました。そのため、交通量が多くて、渋滞はとても大変です。特に、朝と夕方のラッシュアワーはほとんど毎日大渋滞しています。

祭り

カンボジアの主な祭りを2つ紹介したいと思います。4月の14日から16日まではカンボジアのお正月です。日本と違って賑やかな新年です。人々が故郷に帰って、親戚が集まります。お寺で年齢を問わず皆伝統的な遊びなどを一緒にやります。

次は、水祭りです。国王主催のお祭りで、毎年王宮省が行っています。水への感謝のための祭りです。そして、この祭りはプノンペンにある川で開催しています。朝からボートの競争があって、夜はボートのイルミネーションと花火大会があります。

食べ物

日本では美味しい食べ物がいっぱいあります。ラーメン、寿司、うどん、カレー、たこ焼き、お好み焼き全部私の大好き物です。特に、広島県の尾道ラーメンが



カンボジアのカレー

とても美味しいです。とはいえ、カンボジアから来た私は時々辛い食べ物が食べたいです。カンボジアの食べ物は、酸っぱいものや、辛いものが多いです。日本にはなかなか辛い食べ物なくて、自分で国の食べ物を作ろうとしても調味料や材料などが売っていないから、普段は作れなくて、残念です。

また、私は辛い物が好きですが、ワサビは食べられません。

今でも寿司屋さんに行ったら、「ワサビ抜き お願いします」といつも頼んでいます。さらに、日本で馬の肉を食べると聞いてびっくりしました。ほとんどのカンボジア人のイメージは馬といえば重いものなどを運んだり、人が乗ったりする動物なので、肉は食べません。

最後に

日本に来てから、色々な楽しいこと・面白いことがいっぱいありました。学校の先生をはじめ、クラスメイト、周りの人たちが優しくしてくれて本当にありがたいです。勉強のこと以外にも、旅行、新しい人の出会い、新しい知識、新しい体験ができて充実した生活を送っています。これからもいろいろな活動やイベントなどに参加してたくさんの貴重な思い出を作りたいと思います。



呉高専の留学生たちとお花見

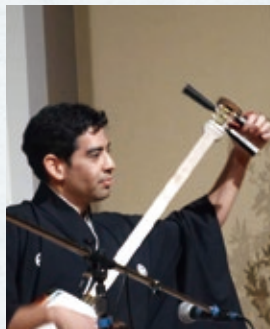


HIC×ひとむすび 三段峡ツアー

ホルヘさんの日本日記

三原やっさと全国に広がる ハイヤ系民謡

広島県地域政策局国際課 国際交流員
ホルヘ・ロドリゲスさん



メキシコ、タマウリバス州出身。メキシコ国立自治大学で作曲を専攻し、筑波大学で国費留学生の研修プログラムで一年間日本伝統音楽及び民謡を研究した。十三弦箏、山田流に2008年に入門し、裏組を取得。

津軽三味線・民謡、井坂流に2012年に入門し、中殿を取得。現在、井坂流の広島支部に所属。

2018年に広島県国際交流員として広島へ移住し、広島県民と交流の機会などを企画している。

今回は、ホルヘさんに「三原やっさ節」について紹介いただきます。

『瀬戸の島山 風さえ風いで 三原良いとこ 波の上ヨー』

(三原やっさ節の歌詞)

夏になると、セミの声と共に、お盆を祝うお祭りが所々で開催され、暑さを後にし、うちわを片手に浴衣姿で舞う時期がやってきます。古くから、仏教の行事である盂蘭盆会^{うらぼんえ}で、念仏踊^{ねんぶつおどり}やそれぞれの地域の風流踊^{ふうりゅうおどり}が踊られ、この世を去った先祖の霊を祀りましたが、近世より、輪踊^{りんおどり}をもととした「盆踊^{ぼんおどり}」と呼ばれる踊りが定番となり、全国的に広がりました。盆踊りは一般的に櫓^{うし}の周りに、横笛^{よこふエ}と太鼓の囃子^{はやし}を合わせて踊られています。現在、盆踊りに合わせられている、地域の魅力や、相手への思いを語る唄が固まって、口承で伝えられています。



三原市。盆踊りとして踊られる「やっさ踊り」
(出典：日本の伝統芸能、本田、1990年)

ですが、初期では、囃子を担当する方が、七七七五調で即興的に作詞し、唄われていたそうです（本記事に記載した「三原やっさ節」の歌詞も、上述の構成になっています）。

『見たか聞いたか 三原の城は 地から浮いたか 浮き城かヨー』

(三原やっさ節の歌詞)

広島県内に、様々な盆踊りや盆唄がある中、三原市を代表する「三原やっさ節」は、南国から北部まで広がった「ハイヤ系民謡」の一つであり、戦国時代の瀬戸の歴史を語り、全国と豊富な繋がりを持つ民謡です。

永禄10年（1567年）に、大名の小早川隆景が、交易路として多くの商船が使われていた瀬戸内海のルート^{えいりく}を制するために、沼田川の河口の大島と小島を石垣でつなぎ、三原城を築きました。満潮になったときに、お城の姿が海に浮かぶように見えたそうで、浮き城と呼ばれるようになりました。

お城の築きが終わり、市民が三味線、太鼓、横笛などを打ちならし、お祭り騒ぎでお祝いしたそうです。祝い酒に酔い、思い思いの唄を唄いながら踊りだしました。お寺で踊られていた、先祖供養のための念仏踊^{ねんぶつおどり}が町に出て、原型が町で行われていた夏のお祭りの踊りと融合になり、現在のやっさ踊りとやっさ祭りが誕生しました。



昭和51年の第一回三原やっさ祭りのポスター
(出典：三原やっさ祭り実行委員会)

『ハイヤで 今朝出した 船はエー どこの港に 入れたやらエー』

(牛深ハイヤ節の歌詞)

江戸時代に鹿児島から大阪の上がり下がりする帆船船が、中継の港となっていた、熊本県天草市の牛深町^{あまぐさ うしぶちやう}に、カツオ節やサンゴなどを降ろし、船員が現地の新銀取り^{しんぎんど}と呼ばれる女性におもてなしをされ、新銀取りが毎晩の宴席で情熱的に「ハイヤ節」を唄って踊っていました。船員が、牛深で覚えたハイヤ節を酒盛りや大漁の祝い唄として唄い、港々で徐々に広がりました。さらに、大阪から北海道を往復する北前船の経由で、海の波のように全国に伝わりました。牛深ハイヤ節は、奄美大島の酒盛り唄である「六調節^{ろくちようぶし}」の流れで誕生したと考えられます。南国の独特なリズムや長囃子^{ながはやし}を持ち、全国で他の民謡にあまりない躍動感が溢れる唄です。

ハイヤ節がそれぞれの地域に伝われ、各地の演奏方法などによる変わりましたが、ルーツがいずれの民謡に残り、「ハイヤ系民謡」と呼ばれるようになりました。「三原やっさ節」をはじめとし、徳島の「阿波踊り」や、新潟の「佐渡おけさ」、それに青森の南部地方の「南部あいや節」とその繋がりで生まれた、津軽の五大民謡の一つである「津軽あいや節」などの有名なハイヤ系民謡も誕生され、全国で40ヶ所以上、ハイヤ系民謡のルーツを持つ唄が存在します。

一方、三原やっさ踊りは、牛深ハイヤの踊りと異なり、同じハイヤ系のメジャーな民謡である「阿波踊り」の影響が強いと考えられます。

下記のQRコードで、同じルーツを持つハイヤ系民謡が聴けますので、ぜひ聴き比べをしてみてください。



全国に広がったハイヤ系民謡
(出典：牛深ハイヤ祭り実行委員会)



鹿児島県
奄美大島民謡
「六調節」



熊本県天草市
牛深町民謡
「牛深ハイヤ節」



広島県
三原市民謡
「三原やっさ節」



青森県
南部地方民謡
「南部あいや節」



イスラム教人の正しい理解

ラマダンとイードについて



家族集合写真①

ラマダンとは

ラマダン (Ramadhan) とは、イスラム暦における9月のことで、イスラム教の五行のひとつである「断食 (サウム)」を行う月のことです。

ラマダンの期間

今年は4月13日に始まり、5月12日の夕方に終了しました。イスラム教は太陰暦 (1年354日) を採用しているため、ラマダンの時期は毎年同じではなく、11日ずつ早まっています、33年で季節が一巡します。

ラマダンの目的

ラマダンには、自身の信仰心を清める目的があります。さまざまな欲を捨て、絶対の神への献身と奉仕に没頭する期間で、食欲を絶つほか、そのほかの禁欲も課せられます。世俗的な私利私欲を抑えることによって、堕落した考えを捨て自己を鍛錬し、神への献身と奉仕に没頭します。この1か月の間にコーランを読み直し、心静かに過ごします。

ラマダンのルール

ラマダンのときは、ひと月を通して断食 (サウム) を行いますが、約1か月の間ずっと飲まず食わずというわけではなく、断食する時間は日の出から日没までです。場所によって日照時間が異なるため、地域により断食時間に差が生じます。

また、日が出ている時間帯は水を飲むこともできないので、気温の高い地域ではかなりの苦行になります。イスラム教徒であっても妊婦や病人などは断食を免除されます。

ラマダンはイスラム教のしきたりなので、異教徒や旅行者は断食をする必要がありませんが、イスラム教徒の目の前で飲食はできるだけしないよう気を遣うのがマナーと言えるでしょう。

イード

イードは、イスラム教徒にとって最大の祝祭です。1年の間に2回行われ、それぞれ「イード・ウル＝フィトル」、「イード・ウル＝アドゥハ」と言われます。

「イード・ウル＝フィトル」は、30日間の断食から解放される祝祭で、イスラム暦10月1日から祝われます。「イード・ウル＝アドゥハ」は、イスラム暦12月10日から行われる祝祭で、牛や羊を神様に捧げる犠牲祭です。

この2つの祝日は3～4日間ですが、イスラム教の休日である金曜日などに絡ませて、おおよそ1週間ほどお休みになる企業が多いそうです。

今年のラマダンやイードの様子を株式会社マリモホールディングスのサラマさん (インドネシア出身) に写真で紹介していただきました。上と下の左の写真は団地での家族の集合写真で、イード・ウル＝フィトルのときは近所の家へ挨拶をしに行きます。下の中央の写真は、イード・ウル＝フィトルのときの礼拝の写真です。下の右の写真はオポールアヤムで、ココナッツミルクで調理された鶏肉からなる中央ジャワのインドネシア料理です。イード・ウル＝フィトルにも人気のある食べ物です。



株式会社マリモホールディングスのサラマさんの家族集合写真②



イード礼拝



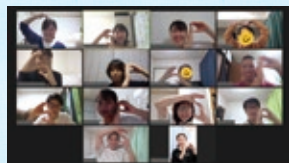
オポールアヤム

Smiles Production

“自分らしい生き方への挑戦を”

私たちSmiles Production（以下SP）は、広島大学公認の国際協力学生団体です。インドには学校に通いたくても通えない子供たちがたくさんいます。彼らが学校に行き教育を受け自分らしい生き方に挑戦してほしいという思いを胸に、SPは奨学金支援というかたちで子供たちをサポートしています。

現在、14人のメンバーが在籍しています。活動内容は、毎週1回の定例ミーティング（現在はオンラインで実施しています）、年2回のインド派遣（新型コロナウイルスの影響で今年は渡航できませんでしたが）、活動拠点である東広島を始めとする地域イベントへの参加等です。



事業紹介（ダージリン事業・ジャグリティ）

私たちの活動の主軸としてあるのが「ダージリン事業」です。ダージリン事業では、インドの西ベンガル州に位置するダージリン地方において、貧困のため学校に通うことが難しい子どもたちを対象に奨学金支援を行っています。支援する子どもたちの選定から実際の支援まで、SPの学生が主体となり、現地NGO団体と協力して事業を進めています。私たちの支援によって、支援する子供たちに自分らしい生き方に挑戦してほしい、と考えています。

また、私たちは「ジャグリティ」という事業も行っています。ジャグリティは、西ベンガル州シリグリのストリートチルドレンの保護施設です。犯罪に巻き込まれる可能性の高い女子を対象に、ご飯の提供、衛生や基礎教育、ライフスキルトレーニングなどを行っています。ジャグリティは、現地NGOコンサーンが運営しており、



現在SPは資金面で関わっていますが、今後積極的に事業の企画運営に参加するために計画を進めています。

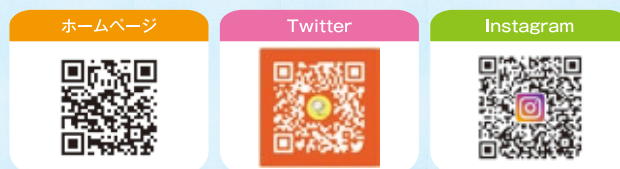
これからのSP

今後SPは少しずつではありますが、新しい取り組みも行っていきたいと考えています。例えば、より多くの人に存在を知ってもらえるよう、インド雑貨のオンライン販売や、SPが支援している子供と日本の子供をつなぐプロジェクトなどです。そして、コロナ収束後にインドに行き、支援している子供たちと交流することも、メンバーにとって今後の活動の楽しみの一つです。ダージリン事業やジャグリティの活動を通して、インドの子供たちだけでなく、SPのメンバー自身も“自分らしい生き方への挑戦を”していきたいと思っています。

ホームページ：https://smilesproduction2015.jimdo.com/

Twitter：https://twitter.com/_smilesprod_

Instagram：https://www.instagram.com/_smilesproduction_/



「2021ひろしま留学大使」の活動が始まりました！

広島留学の魅力を、留学生目線で世界に向けて発信するためのプログラム「ひろしま留学大使」の活動が始動しました。ひろしま留学大使としての役割としては、大きくふたつあります。

- 1) 地域や留学生を取り巻く課題について、その解決方法を検討する
- 2) 「広島」について学びを深め、広島留学の魅力をSNSで国内外に発信する

ひろしま留学大使に応募した学生は、まず6月～8月にかけて開催される事前研修を受け、平和・防災・観光・産業など、さまざまなテーマで広島について学んでいきます。

6月13日（日）には、第1回目となる事前研修①をオンラインで実施し、SNSの使い方について、東広島まるひネット編集長・小林美希さんに講演いただきました。11か国36名の留学生が参加し、写真の撮り方・選び方のコツや、各SNSの特徴などについてレクチャーを受けました。発表や質問の時間では、意見が活発に飛び交い、皆さんの前向きな気持ちを感じとれる研修となりました。

9月に正式に留学大使に任命された後は、研修を毎月1回程度行い、外国人を取り巻く課題について、問題提起やその解決策を探っていきます。



事前研修（第1回）

年間の活動スケジュール

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更があります。

6月13日（日）	SNSによる広報について ■SNSの効果的な使い方・各SNSの特徴など （東広島まるひネット編集長 小林美希さん）	8月20日（金） ・24日（火）	観光・産業について ■オタフクソース㈱の工場見学・お好み焼き調理体験 ■広島県の産業や日本での就職活動の進め方など （㈱ディスコ広島支社 大野奈々さん）
7月18日（日）	防災について ■日本の気象・防災の基礎知識について （気象予報士 晴山紋音さん） ■広島豪雨災害での外国人対応の経験から （ダイキ日本語学校東京学院長 安井友美さん）	9月4日（土）	ひろしま留学大使 任命式 SNSへの投稿回数、事前研修の出席数などの条件をクリアした方を、留学大使に任命します！
8月7日（土）	平和について ■平和記念資料館見学・被爆者講話など	9月～2月	研修（月1回/全6回） 外国人に関わる課題についてグループで話し合いながら、その解決策を探っていきます。
		3月	ひろしま留学大使修了式、報告会 SNSへの投稿回数、研修への出席数などの条件をクリアした留学大使には、修了証書をお渡しします！また、活動内容の報告会を行います。

研修に加えて、広島の留学環境についてSNSで発信していくことも、留学大使の大切な役割です。留学大使には、毎月さまざまなテーマで、自身の留学生活に関する内容を個人のInstagramやFacebookなどのSNSで発信していただきます。大使の皆さんの投稿内容は、ひろしま留学大使事務局のFacebookアカウントで、シェアしていきますので、ぜひチェックしてみてください！



「ひろしま留学大使 / Hiroshima Study Abroad Ambassador」

Facebook→ https://www.facebook.com/hsaa2014 Website→https://hsaa-studyabroad.jimdo.com/



留生活躍支援センター

Report 1 外国人留学生インターンシップの受入企業募集

外国人留学生にとって、日本企業でのインターンシップは、日本企業の働き方やルールなどを知る上で貴重な体験です。また、受入企業にとっては、外国人留学生の能力や考え方を深く知り、採用につなげるチャンスでもあります。

当センターでは、外国人留学生のインターンシップの受入企業を募集しています。

外国人留学生の採用に関心のある企業の皆様はお気軽に当センターにご相談ください。

- 申込先**
- ①オンラインフォームによる申込 <https://bit.ly/3tMP63n>
 - ②登録申込書による申込 申込書ダウンロード→ <https://bit.ly/3wQYleE>
・必要事項を記入し、FAX又はEメールにより申込
FAX：082-212-0366 Eメール：ask-hiroshima@disc.co.jp



↑オンライン
申込



↑申込書
ダウンロード

就職体験コース

受入日数：5日～2週間

内 容：企業での就職体験を通じて、日本企業の仕組みや商習慣、ビジネスマナーを身に付ける。

対 象：日本語能力試験N2以上、またはそれと同等程度の日本語能力を有する留学生。

1 day仕事研究コース

受入日数：1日または半日

内 容：企業概要や業務内容の説明、見学、ワークショップなどを通して県内企業の理解促進を図る。

対 象：日本語能力試験N2以上、またはそれと同等程度の日本語能力を有する留学生。

企業見学ツアーコース

受入日数：半日（2～3時間程度）

内 容：貸切バスで1日2～3社の企業を訪問し、県内企業の認知向上を図る。

対 象：日本語による説明が理解できる留学生。

留生活躍支援センター

Report 2 外国人留学生ための「大学進学説明会」をオンライン(Zoom)で開催します！

留学生向け

日時：7月24日(土) 13:30～15:40

対象：2022年4月に大学・大学院へ進学を希望する留学生

申込：<https://bit.ly/3gl6YNb>



教職員向け

日時：8月25日(水) 13:30～15:40

対象：日本国内外の日本語学校・専門学校の教職員（留学生の進路指導担当者）

申込：<https://bit.ly/3gou8SK>



詳細はこちら：
<https://bit.ly/356mRSA>



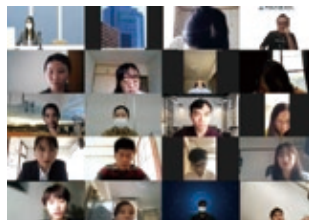
参加大学：広島大学、鞆啓大学、県立広島大学、広島市立大学、広島経済大学、広島工業大学（教職員向けのみ）、広島国際大学、広島修道大学、福山大学（経済学部・工学部）、福山平成大学

留生活躍支援センター

Report 3 留学生と企業とのマッチング交流会(オンライン)を開催しました

5月25日(火)に、「留学生と企業とのマッチング交流会」をオンラインで開催しました。当初は、対面で開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、オンラインに変更して開催しました。8社の企業が出展し、36名の留学生が参加しました。

この交流会の第一部で留学生向けのセミナーをし、第二部で出展企業が1社ずつ会社説明を行いました。第一部の留学生向けセミナーでは、6月からの選考開始にあたり準備しておくことや、日本の採用試験について株式会社ディスコの大野奈々さんから詳しく説明していただきました。第二部の交流会では、1社あたり20分の会社説明をした後、留学生からの質問にお答えいただきました。会社の採用担当者だけでなく、実際に企業で働かれている留学生の先輩や会社の代表者からも話を聞くことができ、有意義な会となりました。ご出展くださった企業の皆様、ありがとうございました。



医療通訳ボランティア スキルアップ研修を開催しています

HIC医療通訳ボランティア登録者を対象とした「医療通訳ボランティアスキルアップ研修」を開催しています。この研修では、医療通訳の倫理心得や医療知識についての講義、模擬通訳トレーニングを行います。今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、オンラインでの実施となりましたが、初回の6月19日の講義には、44名の方が受講されました。

医療知識の習得、通訳技術の向上を目的としたこの研修は、上半期は8月1日までに計3回開催します。



外国人のための相談窓口

◎外国人の暮らしを多言語で サポートします。

暮らし全般に関する相談のほか、
在留資格 (Visa) 等の専門相談を行っています。

秘密は守ります

無料 (0円)

《フリーダイヤル》

0120-783-806

※電話のお金がかかりません。※携帯電話・スマートフォンでも利用できます。

《住所》〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
(公財) ひろしま国際センター



対応言語など

対応言語

英語、中国語、ベトナム語、韓国語、
タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、
タイ語、スペイン語、ネパール語

相談内容

一般 (暮らし) 相談

毎週月曜日～金曜日：午前10時～午後7時
毎週土曜日：午前9時30分～午後6時
昼休み (午後0時～午後1時)

(ただし、祝日及び12月28日から1月4日までを除く)

- 暮らし全般に関する相談に対応
- 多言語で広島県内の情報提供
- 専門相談の予約受付

相談方法

- 相談窓口での相談 ●電話相談
- メール hic@hiroshima-ic.or.jp
- twitter [@hicofficial](https://twitter.com/hicofficial)
- facebook <https://www.facebook.com/2016.HIC/> @2016.HIC

専門相談

※専門家による相談

第4を除く木曜日・毎週土曜日：午前10時～午後4時
毎月第4木曜日は午後2時～午後7時 (2021年8月まで試行中)

(ただし、祝日及び12月28日から1月4日までを除く)

また、第4木曜日を除く午後0時～午後1時も前日までの予約により、相談を受付

- 在留資格 (Visa)……………行政書士が対応
- 社会保険・労働条件……………社会保険労務士が対応
- 法律・人権……………弁護士又は司法書士が対応

(土曜日のみ)

「HICキッズセミナー～世界の国をのぞいてみよう!～」を 開催します!

7月31日 (土) に、子ども向けの異文化理解のためのイベント「HICキッズセミナー～世界の国をのぞいてみよう!～」を開催します!

当センターでは久しぶりの対面イベントとなるこのセミナーでは、親子で楽しく学べる! をテーマに、青年海外協力隊員としてそれぞれ、パプアニューギニア、マダガスカルに赴任された、三田崇さん、高村有紀さんをお招きし、赴任国についてお話いただきます。

海外に行くことが難しい今だからこそ、少しでも旅行気分が味わえるような楽しい内容を考えていますので、ぜひお気軽にご参加ください!



- 日時 7月31日 (土) 14:00～16:15
- 場所 ひろしま国際センター 交流ホール
- 定員 小学生を含む親子10組程度
- 申し込み 要 [<https://bit.ly/3yZaCVF>]

申し込み



Hello Hiroshima

Vol.113 July 2021



Hello Hiroshima! Aya here!

Aya

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

Summer is rapidly approaching, in fact will have already arrived by the time you are reading this! Hopefully you are reading this in a well air-conditioned place with watermelon and cold tea close at hand.

Coming from the very temperate San Francisco Bay Area, which is well known for having one long season all year, the dramatic seasonal changes of Japan were initially quite the shock! Then again, since the bay area's range of temperature change is about 20 degrees, anywhere I moved would probably have been quite dramatic haha.

But now that I have adjusted to living in a place with the four seasons, I have grown to love it! Particularly because Japan particularly embraces and celebrates its seasonal changes. While in America we have seasonal holidays and do look forward to different times of year, I think that Japan emphasizes them to a wholly different extent.

I love how Japan makes an entire activity out of going to see the different seasonal flowers, and how you can tell what time of year it is solely based on what flowers are now in season, from hydrangea to irises, wisteria to sakura. This is why whenever I have to explain hanami to my friends back home, I struggle! "You go and drink under the sakura with friends! No, you don't pick any or do anything else, you just go to look at the flowers. Yeah I don't know how to explain it but it's really fun, I swear." I'm not sure what seems so quintessentially Japanese to me about planning a whole

vacation around going to see a seasonal flower in full bloom, but it really does!

This is coming from someone who has totally bought into it. My monthly planner since I've come to Japan, next to work events and friends birthdays, has what flower will be blooming and where written in (That's probably me being excessive though and not most people haha).

And in America, while I've spent time on the East Coast so have gotten to appreciate fireflies during the summertime, I was very surprised after moving to Hiroshima, when someone invited me to drive an hour and a half specifically to see fireflies. I was even more surprised when crowds of people were there! I thought the act of so many people being gathered in such a hard to access place, specifically to watch these bugs (granted, they are very beautiful bugs) was really endearing, and not something I had ever heard about in the states. It made it all the more whimsical and magical of an event, and I will definitely be there again (COVID willing) this year.

I hope that despite the grueling fight against COVID-19 here, with state of emergencies coming and going for the last year, that all of you will be able to get outside and see some fireflies or irises and enjoy this beautiful (if almost fatally hot and humid) season in Japan, with as few cockroach sightings as possible!



Upcoming

Event News



ユニセフパネル展 戦後日本の子どもたちへの支援

日本は第二次大戦後ユニセフから支援を受けました。当時の子どもたちの写真からいまに繋がる“自立”を目指したユニセフの支援の様子をお伝えします。併せて、設立15周年を迎えた広島県ユニセフ協会の活動も紹介します。

日 7月14日(水)～7月22日(木) 7月19日(月)は休館
時 9:30～22:00 14日(水)は11:00から、22日(木)は15:00まで
場 合 人 社 ウ エ ン デ ィ ー と ・ ま ち プ ラ ザ 南 棟 1 F ロ ビ ー 定 額 無 料
問 広 島 県 ユ ニ セ フ 協 会 担 当 者 : 高 田 和 美 電 話 : 082-231-8855
mail : unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

広島県ユニセフ協会 オンラインミニ学習会 使用済み切手 de ユニセフ募金

ユニセフの支援活動と募金について学びます。参加者が使用済み切手を募金にするための切り方を学び、実際に画面越しで切る体験をしたり、募金となる使用済み切手の仕組みを学びます。お手元の使用済み切手のない方は広島県ユニセフ協会から送ります。

日 7月17日(土) 時 14:30～16:00 場 Zoom
定 額 20 人 費 無 料
問 広 島 県 ユ ニ セ フ 協 会 担 当 者 : 高 田 和 美 電 話 : 082-231-8855
mail : unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

広島から世界へ！ いつか世界を変える力になる！

広島から世界へ！ 2021年3月下旬より、広島県出身の
JICA海外協力隊3名が世界へ向けて出発しています！



■現在赴任中の広島県出身 JICA海外協力隊(名)

区 分	男性	女性	合計
青年	2	0	2
シニア	0	0	0
日系青年	1	0	1
日系シニア	0	0	0

2021年5月21日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。
派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。
そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか？



帰国隊員レポート

～ガーナ共和国篇～

職種：障害児・者支援 羽立 大介さん



ガーナ共和国

1957年に独立後1960年に共和制へ移行した、西アフリカに位置する共和国。

【概要】 面積：238,537平方キロメートル
人口：約3,042万人（2019年：世銀）
首都：アクラ
言語：英語（その他各民族語あり）
宗教：キリスト教、イスラム教その他伝統的宗教等

現地での活動内容

私の配属先はガーナ北西部にある全寮制の盲学校でした。幼稚部、小学部、中学部、職業訓練部があり、全校生徒は約200人です。

日本では各県に少なくとも1校は盲学校がありますが、ガーナでは全国で数校ほどしかありません。そのため、別の州出身の生徒も多く在籍していました。

私は中学部のICT（Information and Communication Technology＝情報通信技術）と体育の教員として授業を行いました。当初はICTのみの要請でしたが、体育が時間割にはあるものの、行われていなかったため途中で受け持つことになりました。また、生徒が日常的にスポーツをする機会が少ないように感じられたので、放課後にはブラインドサッカーの指導・普及を行いました。累計で700人ほどの生徒がクラブ活動に参加し、全盲の生徒、低学年の児童がボールに触れる時間を多く確保できた手ごたえがあります。



▲素敵な同僚たちと



▲近所さん



▲ブラインドサッカークラブの様子



▲柔道隊員を招いての柔道の体験会



▲甘い香りに包まれるパイナップル畑



▲目が見える子たち向けのブラインドサッカー体験会

ガーナ共和国ってこんなところ！

西アフリカに位置するガーナ共和国。日本とは9時間の時差があります。

人口は約3,000万人で、面積は日本の約3分の2の大きさです。公用語は英語で、ガーナ全域で話されていますが、40を超える現地語も同時に使用されています。

北半球に位置していますが、赤道との距離が近く年中暖かいです。ガーナ＝カカオというイメージが定番ですが、ガーナ全土で栽培されているわけではなく、南部を中心に栽培されています。ちなみにガーナのカカオ生産量は世界第二位で、第一位は西隣のコートジボワールです。最近ではガーナ国内にチョコレート会社が増えてきて「made in Ghana」のチョコレートの製造・販売も行われています。

ガーナの人たちはサッカーが大好きで、代表戦がある時は皆さん全力で応援しています（平日休日/日夜問わず）

帰国して

当初は2020年6月末に帰国する予定でしたが、新型コロナウイルスの世界的流行の影響があったため、3月に帰国しました。6月末に任期を終え、7月から国際協力推進員に着任しました。国際協力推進員というと、どんなことをしているのかイメージがしにくいと思いますが、広島県内でJICAの広報をしたり、JICA事業に関心がある方からお話を伺ったり、「地域のJICA窓口」として活動しています。

新型コロナウイルスの影響もあり、企画したものの中止せざるを得なかったこともたくさんありますが、少しでも多くの人にJICAやJICAの取り組みを知っていただくために日々奮闘しています。協力隊としての活動は終わったものの、ガーナで身に付けた「人に頼る、甘える」精神はこの仕事を行う上で欠かせないものとなっています。

はなで だいすけ 羽立 大介さんプロフィール

・広島県広島市出身。大学卒業後、重度の知的障害がある方の生活入所施設で生活支援員として勤務。2018年6月からJICA海外協力隊 障害児・者支援隊員としてガーナに派遣、盲学校の教員として活動。2020年3月に帰国し7月より国際協力推進員として活動中。

参加のきっかけ

「海外で生活してみたい」学生のころから漠然と抱いていた思い。社会人として経験を積み、かつ頭でっかちになる前にこの思いを実現させたいと参加を決めました。

参加して思うこと

自分と周りの人の「違い」に戸惑い、苛立つこともありましたが、一方で、国籍が違っても、障害があってもなくても共通する思いや考えを持っている人にも出会うことができました。

「帰りたい」場所が増えたのはとても幸せだなと感じています。

スポーツ × 国際協力

コカ・コーラレッドスパークス（女子サッカー）が主要国内大会3冠達成。
廿日市市と三次市が「女子野球認定タウン」に認定。ドラゴンフライズ（バスケットボール）B1昇格。
日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）設立、「サンフレッチェ広島レジーナ（サッカー）」誕生。
アンジュビオレ広島（サッカー）などでしこリーグ1部昇格、
スペシャルオリンピックス2022広島の開催（2022年）、サッカー専用スタジアム開業（2024年）・・・
広島のスポーツ界へ目を向けると、ますます、スポーツ文化が根付いているように感じます。
2021年7月23日は「スポーツの日」ということで、スポーツに関するJICAの取り組みをご紹介します。



南スーダンについて

「南スーダン共和国（以下、南スーダン）」という国名を聞いたことはありますか？南スーダンは東アフリカに位置し、2011年に独立した世界で最も新しい国です。しかし計40年以上に及ぶ内戦の影響で、日本の約1.7倍の広さがある国土全域で開発がほとんどなされておらず、保健、教育、水供給などの基本的な社会サービスや、電力、道路などの基礎的なインフラが不足しています。また、それらのサービスを提供する地方の政府・行政も殆ど存在しないため、国民の生活環境は著しく悪い状態が続いています。南スーダンでは国民の大半が農業に従事し、肥沃な土地にも恵まれ、高い農業の潜在力を有しています。しかしながら、土地の所有権を巡る争いや、農業開発のために必要なインフラ、組織、制度、

法的枠組みが欠如するなど様々な理由により、現在は農産物を輸入するのみならず、人口の約1/4に相当する200-300万人もの人が食糧援助に依存しています。

そのためJICAは、(1) 新国家建設支援（インフラ整備・ガバナンス能力強化）、(2) 基礎生活向上支援、(3) 食料安全保障支援を重点分野として支援しています。また、JICAの人材育成事業の枠組を活用して広島で「紛争解決、紛争予防、国際法、平和構築」について学んでいる南スーダンの研修員もいらっしゃいます。



南スーダン国旗



「国民結束の日」を実施

南スーダンでは2016年、国民結束の日（National Unity Day）が開催されました。これは日本の「国民体育大会（国体）」のような取り組みで、各地域で選抜された選手団によるスポーツの全国大会です。多くの課題を抱えている南スー



参加者が発する、平和へのメッセージ 写真提供：久野真一/JICA

ダンでの「スポーツの全国大会」実施、これは、スポーツを通して南スーダン国民が結束すること、ルールや他者を尊重する姿勢を多くの人（特に若い世代）が身につけることで南スーダンの課題解決に向かって歩んでいきたい、という南スーダン文化・青年・スポーツ省スタッフの強い思いがあったからこそ実現したものです。JICAは第1回から大会運営に携わっています。数多くの困難がありましたが、様々な機関と協力することで2020年まで5年続けて「国民結束の日」は開催されています。そして、国民結束の日で結果を残した選手4名とコーチ1名で結成された東京オリンピック・パラリンピック選手団が2019年の秋、ホストタウンである群馬県前橋市での事前キャンプを開始しました。選手団が日本で奮闘している姿は祖国南スーダンでも取り上げられ、大きな勇気と感動を南スーダンの国民へ与えています。

選手団はこれからの南スーダンを担う若い世代にとっては道標のような、「平和と結束」の象徴的な存在として、これから先も大きな影響を持つのだらうと感じています。



各地域の代表選手が激走！

写真提供：久野真一/JICA



スポーツと平和について



スポーツで盛り上がるのは万国共通！ 写真提供：久野真一/JICA

戦後復興のさなかにあった1947年、第26回全国中等学校蹴球大会で広島高師付中（現広島大学附属高校）が圧倒的な強さで復活大会を制し、広島の人々に夢と希望をもたらし、復興への大きな力となったように、そして1949年に創設された広島カープが戦後の混乱の中、市民の希望となったように、スポーツは見る人に勇気を与えてくれます。また、スポーツは、チームで努力することの大切さ、ルールを守ることや相手に対しての礼儀等たくさんのことを教えてくれる、「人間力を育てる場」とも言えるでしょう。スポーツを通じて人を育てることで、国づくりに活かすという国際的な動きが、近年増えています。



「世界中に広がる'UNDOKAI'」

今回は南スーダンに関することを紹介しましたが、その他の国や地域でもJICAのスポーツに関する取り組みは行われています。

JICA海外協力隊の「小学校教育」や「青少年活動」「体育」などの隊員の中には、活動する配属先（小学校や中学校）で「UNDOKAI」（運動会）を実施する隊員がいます。スポーツの目的を身体能力の向上だけでなく、協調性や他者を尊重する精神を育成する機会として捉える考え方が広まってきています。

詳細やその他の事例については、QRコードの読み取りもしくは「mundi JICA」で検索するとご覧いただけます。ぜひご活用ください。



<https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1806/index.html>



写真提供：永武ひかる/JICA

「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

HIC article: 張 甌寧さん (中国)

Living in HIC (Hiroshima international plaza) is one of the best decisions I made during my study in Japan. It has not only provided me with great convenience and help, but also allow me to make many good friends. What's more, a lot of financial supports have been given during the pandemic, which helps me get through this very tough time. From HIC, you can enjoy the spectacular but also unique mountain view in different seasons. My favorite is the spring. Every spring, when the cherry blossom is in full bloom, I would walk under the cherry trees outside the building to feel the breath of the spring. Since two years ago, even before I moved in, I had often came to the library here to read. The library here has a lot of books and useful tourism information. It is a very peaceful place to stay if you want to spend some quality time by yourself. Every GRP member can use the study room in HIC in anytime, which provides a very good place to self-study, too.

Most of the people who live in here are foreigners. HIC has provided this platform to help us international students to better suit in the local life. I used to live in Taguchi, where there are nothing but rice

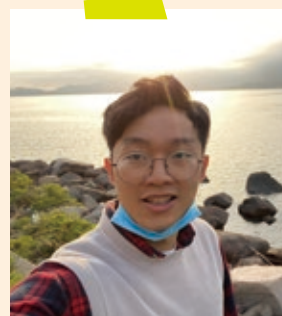
field and I was very lonely after school every day. But since I had lived in here, before the COVID-19 pandemic, we often got together and had fun. I have also meet one of my best friends here and we still keep in touch after her graduation.

In 2020, because of the epidemic, I had to stay in China for nine months and couldn't come to Japan. At this time, HIC offer the help to reduce the cost of accommodation for me, which helped me a lot financially.

The transportation of HIC is also very convenient. There are several free buses to the station and Hiroshima University every day. Since the Monet project was launched last year, it has become more flexible and convenient to go from HIC to the Hiroshima University.

Finally, I would like to thank the employees of HIC who has offered a lot of help to my life. They are being very friendly, always greeting with a smile on the face.

I'm going to graduate soon. I hope everything here go fine and wish my friends all the best.



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊800円 管理費2,550円/月
月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

第2回 グローバルキャリアセミナー (オンライン) を開催します

このセミナーでは、海外での仕事経験のある講師に、国際関係の仕事のやりがいや体験談、仕事に就くための秘訣を語ってもらいます。国際関係の仕事を目指している皆さん、ぜひご参加ください。



中富 玄氏



栗原 真由花氏

日 時 2021年7月23日 (金・祝) 15:00～16:40
実施方法 オンライン (Zoom)
対 象 者 中学生、高校生、大学生など
(一般の方も参加可)
参 加 費 無料

講師 (2名)
・国際労働機関 (ILO) : 講師 JPO 中富 玄氏
【ジュネーブ本部勤務】
・外務省国際機関人事センター : 講師 栗原 真由花氏
申込方法 オンラインフォーム
詳細 <https://bit.ly/3x8sYBB>



交流部&留学生生活支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082) 541-3777 FAX.(082) 243-2001
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082) 421-5900 FAX.(082) 421-5751
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

【情報センター・図書室】
月～金 10:30～12:30, 13:30～19:00
(12:30～13:30閉室)
土・祝日 10:30～19:00

※日曜および年末年始
(12/29～1/3)はお休み
です。
※その他、臨時休室の場合は、
HPで随時お知らせします。
※NGO交流室は休室中です。

